

## 2022（令和4）年度 拓殖大学 教員募集要領

本学の建学の精神と教育方針に共感し、教育、研究及び学部の諸業務に熱意を持ってあたると共に、本学への帰属意識と一体感を有する人材を求めます。

1. 職名、人数： 教授、准教授または助教 1名
2. 所属： 商学部
3. 募集分野： 〔経営学関連〕原価管理論（サービス原価管理研究）、〔会計学関連〕原価計算論
4. 主要担当科目： 原価管理論、原価計算論、工業簿記、スタディスキル、ゼミナール
5. その他の担当予定科目： 原価計算特論（大学院）、原価計算特論演習（大学院）
6. 採用予定日： 2022（令和4）年4月1日
7. 応募資格：
  - (1) 当該分野に関する研究業績を有する大学院博士後期課程修了者、あるいはそれと同等以上の教育・研究歴または実務経験を有する方
  - (2) 大学教育に熱意と意欲をもって学生を指導できる方
8. 待遇： 本学就業規則・給与規則等によります。
9. 提出書類： ※様式は本学ホームページ( <https://www.takushoku-u.ac.jp/> )から取得してください。
  - (1) 応募書類（表紙） [様式1]
  - (2) 履歴書（写真貼付のこと） [様式2]
  - (3) 教育・研究に関する抱負 [様式3]
  - (4) 主要担当科目講義要項案 [様式4]  
※（「原価管理論」、「原価計算論Ⅰ（会計学科用）」の2科目について作成してください。）
  - (5) 研究業績一覧 [様式5]
  - (6) 主要業績3点（著書・論文等）のA4判のコピー  
※可能であれば、PDFファイルでUSBメモリに保存し、併せてご提出ください。
  - (7) 主要業績3点の要約 [様式6]
  - (8) 上記の「応募書類（表紙）」、「履歴書」および「研究業績一覧」のWordファイルを保存したUSBメモリ
  - (9) 最終学歴の卒業・修了証明書（学位記のコピーも可）
  - (10) 健康診断書  
※最終選考に進まれた方に提出していただきます。
- ※ 応募者の個人情報、法令および本学の規程に則り取り扱い、目的外の使用や第三者への提供はいたしません。なお、採用されなかった方の応募書類は、適切な方法で処分いたします。
10. 応募書類提出先： 拓殖大学 学務課（文京キャンパス）  
〒112-8585 東京都文京区小日向 3-4-14 （Tel：03-3947-7173）
- ※ 封筒に『商学部・原価管理論 教員応募書類在中』と朱書し、書留郵便で送付してください。  
直接窓口での受付は一切行いません。
11. 提出期限： 2021（令和3）年6月4日（金）郵送必着
12. 選考方法： (1) 書類審査 (2) 学部面接・模擬授業等 (3) 最終面接

13. 選考結果の通知：選考が終了次第、本人に通知します。  
※第一次選考（書類審査）結果は、8月上旬にE-mailにて通知予定です。  
第二次選考（学部面接・模擬授業等）は8月中旬または下旬に実施予定です。
14. 問い合わせ先：拓殖大学 学務課（文京キャンパス）  
（E-mail：b-kyouinkoubo@ofc.takushoku-u.ac.jp）  
※ E-mail でお問い合わせください。
15. 備考：
- ・ 「助教」の身分での採用は、任期制（5年）となります。本制度は教育・研究の活性化を目的とし、任期内での准教授等への早期昇任を促進するものです。
  - ・ 定年退職日は満65歳に達した、その年度末となります。ただし、定年時に教授の方は、定年退職後の再雇用制度（3年間を限度）の適用を申請することができます。（審査あり）
  - ・ 大学からの各種連絡は、原則としてE-mail（応募書類（表紙）に記入のアドレス）で行います。
16. 応募にあたっての留意点
- 拓殖大学は1900(明治33)年の開学以来、多くの卒業生が世界各地で活躍する“国際大学”のパイオニアとして大きな足跡を残してきました。そして、さらなる国際化、グローバル化を推進、政治・経済・文化のあらゆる活動が国の枠を超え、単なる国際交流ではなく、異なる文化や生活様式の人々と共生するために、同じ人間としての共通意識の上に立った人材の育成が必要とされてきています。
- 拓殖大学商学部では、このような観点に立ちながら、以下の内容に合致する「原価管理論」「原価計算論」を専門とし、教育・研究・学内活動等に積極的で有為な担当教員を募集します。
- 「サービス組織の世界経済における役割はますます増大しています。サービス組織は雇用を創出するとともに、人々の暮らしを豊かにします。サービスは無形の経済財であり、さまざまなサービスへの需要が増大する現代の経営環境において、SDGsの視点から中長期的な計画に基づいた事業遂行が社会的責任ともなっています。
- 近年、わが国では現代経営における経営意思決定における生産性向上に求められる“効率性と効果性の統合的管理”や、新たな“ものの見方”であるサービス原価管理研究の蓄積が必要とされてきています。原価管理（コストマネジメント）はファイナンスと会計を結びつける現代経営において、きわめて注目度の高い学術領域であり、次代の起業家や企業家を輩出する本学の使命に沿うものです。」

※募集分野については、参考として「平成30年度科学研究費助成事業」の審査区分表（小区分）で示してあります。

以 上